

7月の世界水泳 今井、池江ら代表

日本水連、40人を発表



今井月



世界選手権の競泳代表に決まり、記者会見する池江璃花子＝10日、東京都北区の味の素ナショナルトレーニングセンター

日本水連は10日、福岡市で7月に開催される世界選手権の競泳代表として今井月（パローHD）池江璃花子（横浜ゴム）瀬戸大也（CHARIS&Co.）本多灯（イトマ

ン東京）松元克央（ミッウロコ）ら40人を発表した。昨年より一つ多い5個のメダル獲得を目指す方針。飛び込みは昨年の世界選手権男子高飛び込みで銀メダルを獲得した16歳の玉井陸斗（JSS宝塚）や三上紗也可（日体大）ら9人が代表に名を連ねた。今井、池江らは9、10月の杭州アジア大会代表にも決まった。

東京都内で行われた記者会見で、2017年以来的の世界選手権代表となった自由形とバタフライの池江は「強い池江が戻ってきたと証明できるようなレースをしたい」と意気込み、個人メドレー2種目で表彰台が期待される瀬戸は「（来年の）パリ五輪に向けてライバルの選手とどれくらいの差があるのか、見ていきたい」と抱負を述べた。200

以平泳ぎの今井は欠席した。玉井は「（合計得点で）500点の壁を越えて、またメダルを獲得したい」と決意を示した。

9日まで代表選考会を実施した。競泳は地元開催の大会へ多くの代表を選出することなどを目的に、日本水連独自の派遣標準記録より遅いパリ五輪参加標準記録を適用。突破したのは今井や池江、女子個人メドレーで16歳の成田実生（金町SC）ら21人で、リレー要員や救済措置で選手を追加した。

渡辺一平（大分県出身）地元九州開催で（得意の200以平泳ぎは）世界新記録と金メダル獲得を目標に頑張っていく。

競泳代表一覧

【世界選手権、アジア大会】▽男子 塩浦慎理、入江陵介、中村克（以上イトマン東進）松元克央（ミッウロコ）竹原秀一（東洋大）柳川大樹、小方颯（以上イトマン港北）日本雄也（アクアティック）渡辺一平、川本武史（以上トヨタ自動車）佐藤翔馬（東京SC）水沼尚輝（新潟医療福祉大職）本多灯（イトマン東京）森本哲平（イ

トマン近大）瀬戸大也（CHARIS&Co.）五味智信（ヨコハマSC）真野秀成（セントラルスポーツ）田中大寛（早大）▽女子 池江璃花子（横浜ゴム）白井璃緒、青木玲緒樹（以上ミズノ）難波実夢（JSS）小堀倭加、牧野絃子（以上あいおいニッセイ同和損保）森山幸美（SWANS）高橋美紀（林テレンプ）鈴木聡美、相馬あい（以上ミキハウス）今井月（パローHD）三井愛梨（横浜サクラ）成田実生（金町SC）大

橋悠依（イトマン東進）谷川亜華葉（イトマン近大）池本風沙（イトマン東京）五十嵐千尋（T&G）【世界選手権のみ】▽男子 川根正大（ツカサドルフィン）吉田冬優（三谷産業）▽女子 弘中花音（イトマンSS）神野ゆめ（中京大）望月絹子（鈴与）【アジア大会のみ】▽男子 井本一輝（イトマン東京）田淵海斗（NECグリーンSC溝の口）竹田涉瑚（オーエンス）